

研究活動

(2017年10月～2018年9月)

心理学科

石田光男

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. ターゲットの呈示視野と利き手の違いが連続的なポインティング課題における運動パフォーマンスに及ぼす影響: 視覚運動協応のトレーニング装置を用いた検討	単著	2018年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要第10巻		pp.21-26
2. Effect of negatively valenced words on deviant P3 during the three-stimulus oddball paradigm	共著	2018年9月	Neuroscience Letters, Vol. 683	Ishida M., Akamine, A., Kaneda M., Sakakibara, M.	pp.38-42
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発行・ 発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	該当頁数
1. 視覚-運動協応における利き手と視野の影響: 連続的ポインティング課題による検討	学会発表	2018年9月	日本心理学会第82回大会, 仙台	石田光男	

岡本真一郎

C (翻訳・資料)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
言語行動(社会心理学)	項目執筆	2018年10月	大修館書店 『日本語科学大辞典』	日本語学会(編)	pp.314-315
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発行・ 発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	該当頁数
言語への社会心理学的アプローチ	講演会 (基調講演)	2018年7月	国立国語研究所シンポジウム, 東京外国語大学	岡本真一郎	
言葉によるコミュニケーション～対人関係を円滑にするために～	講演会	2018年7月	かすがい熟年大学, 春日井市	岡本真一郎	

葛 文綺

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 公認心理師基礎用語集(編集: 松本真理子・永田雅子)	共著	2018年8月	遠見書房		pp.24-26, 107-108

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発行・発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
1. 大学におけるハラスメント防止・相談体制に関するアンケート調査(1)－ハラスメント問題に対応する委員会および啓発・防止のための取り組みについて－	学会発表	2017年11月	日本心理臨床学会第36回秋季大会, 横浜	山内浩美, 武佐和子, 葛 文綺, 中澤未美子, 李 明憲, 内川菜月, 吉村和代, 深見久美子, 田中佳織, 久 桃子, 佐竹圭介, 細野康文, 神野 文, 松崎佳子	
2. 大学におけるハラスメント防止・相談体制に関するアンケート調査(2)－相談体制の違いによる対応の差について－	学会発表	2017年11月	日本心理臨床学会第36回秋季大会, 横浜	久 桃子, 佐竹圭介, 細野康文, 神野 文, 松崎佳子, 葛 文綺, 中澤未美子, 李 明憲, 内川菜月, 吉村和代, 深見久美子, 田中佳織, 山内浩美, 武佐和子	
3. 大学におけるハラスメント防止・相談体制に関するアンケート調査(3)－ハラスメント対応のための制度について－	学会発表	2017年11月	日本心理臨床学会第36回秋季大会, 横浜	葛 文綺, 中澤未美子, 李 明憲, 内川菜月, 吉村和代, 深見久美子, 田中佳織, 久 桃子, 佐竹圭介, 細野康文, 神野 文, 松崎佳子, 山内浩美, 武佐和子	
4. 大学におけるハラスメント事例に対する相談プロセス	学会発表	2018年 5 月	第36回日本学生相談学会, 横浜	千賀則史, 葛 文綺, 佐竹圭介, 細野康文, 小柴孝子, 山内浩美, 中澤未美子, 吉村和代, 深見久美子	
5. 大学におけるハラスメント相談の専門性	学会発表	2018年 7 月	日本コミュニティ心理学会第21回大会, 東京	千賀則史, 葛 文綺, 小柴孝子, 山内浩美, 佐竹圭介, 深見久美子	
6. 多文化とハラスメント～留学生とのよりよいコミュニケーションの構築を目指して～	講演会	2018年 2 月	立命館大学	葛 文綺	

齋藤 眞

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称、開催地	発表者	
森陽子氏の研究発表(司会)	司会	2017年10月	日本箱庭療法学会第31回大会(上智大学四谷キャンパス)	齋藤 眞	
カウンセリングの基本～クライアント(来談者)と、どうやって心のつながりを作ってゆくか	講師	2018年 4 月	名古屋市教育センター	齋藤 眞	
相談員の自己理解	講師	2018年 4 月	名古屋子ども適応センター	齋藤 眞	
子ども理解を深めるための教育相談講座(いじめ・不登校・学習)	講師	2018年 8 月	名古屋市教育センター	齋藤 眞	
見立て力の向上	講師	2018年 8 月	名古屋子ども適応センター	齋藤 眞	

榊原雅人

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 心拍変動増大に最適な呼吸は圧反射感度を高めるか? (第1報) - シーケンス法を用いた圧反射感度評価システムによる検討 -	共著	2018年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学第10巻	榊原雅人, 金田宗久, 石田光男	pp.27 - 34
2. Effect of negatively valenced words on deviant P3 during the three-stimulus oddball paradigm.	共著	2018年6月	Neuroscience Letters, 683	Ishida, M., Kaneda, M., Akamine, A., Sakakibara, M.	pp.38 - 42
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. Effect of Paced Breathing at the Low-frequency Peak of HRV on Baroreflex Sensitivity.	学会発表	2018年4月	AAPB 49th Annual Scientific Meeting, Florida	Sakakibara, M., Keneda, M., Oikawa, L.	
2. バイオフィードバック/ニューロフィードバックの臨床応用	シンポジウム企画・司会・話題提供者	2018年6月	第59回日本心身医学会ならびに学術講演会, 名古屋	榊原雅人	
3. バイオフィードバックにおける心拍変動の可能性	シンポジウム話題提供者	2018年6月	第46回日本バイオフィードバック学会学術総会, 東京	榊原雅人	
4. 心拍変動増大が圧反射感度と随伴性陰性変動に及ぼす影響	学会発表	2018年9月	日本心理学会第82回大会, 仙台	榊原雅人	
5. 心拍変動の臨床応用	チュートリアルワークショップ	2018年9月	日本心理学会第82回大会, 仙台	榊原雅人	

高木浩人

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数) 等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
リーダーの構造づくり行動が学生アルバイトの予防焦点に与える影響 - 役割明瞭性の媒介効果の検討 -	共	2018年3月	愛知学院大学心身科学研究所紀要心身科学第10巻	三ツ村美沙子, 高木浩人	pp.15 - 20
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
大学のサポートが大学の魅力に及ぼす影響 - 学生の性格の調整効果 -	学会発表	2018年10月	日本教育心理学会第59回大会(名古屋大学)	高木浩人	
個人と組織の適合が学生アルバイトの職務態度に及ぼす影響 - 制御適合の観点から -	学会発表	2018年9月	産業・組織心理学会第34回大会(名古屋大学)	三ツ村美沙子, 高木浩人	
組織特性が大学生の知覚する組織の魅力に及ぼす影響(3) - 大学生の達成動機, 開放性の調整効果 -	学会発表	2018年9月	日本心理学会第82回大会(東北大学)	高木浩人, 石田正浩	

千野直仁

B (論文)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
Dynamical scenarios of changes in asymmetric relationship over time (1)	単著	2017年12月	愛知学院大学心身科学部, 心身科学部紀要, 13号		pp.23 - 32
Dynamical scenarios of changes in asymmetric relationship over time (2)	単著	2018年3月	愛知学院大学心身科学研究所, 心身科学, 10巻		pp. 7 - 14
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
Dynamical scenarios of changes in asymmetric relationships on a Hilbert space	学会発表	2017年9月	日本行動計量学会, 静岡	千野直仁	
An elementary theory of a dynamic weighted digraph	学会発表	2018年9月	日本行動計量学会, 東京	千野直仁	

中島健一

A (著書)					
著書, 論文等の名称	単著 共著	発行・ 発表年月	発行所, 発表雑誌 (及び巻号数)等の名称	編者・著者名 (共著の場合のみ記入)	該当頁数
1. 福祉心理学	共著	2018年8月	遠見書房	中島健一	pp.83 - 96
2. 社会福祉学習双書2018第11巻「心理学」	共編	2018年1月	全国社会福祉協議会出版部	中島健一, 田中康雄, 杉森伸吉	
D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
高齢者動作法ワークショップ	講師	2018年3月	認知症介護研究研修東京センター		

八田純子

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
1. 怒り反すう特性と自己愛傾向との関連	学会発表	2018年9月	日本心理学会第82回大会(東北大学・仙台)	八田武俊, 八田純子, 田村 達	
2. 自己への脅かしがゆるしに及ぼす影響	学会発表	2018年9月	日本心理学会第82回大会(東北大学・仙台)	若山和樹, 八田武俊, 八田純子	

牧田 潔

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
自閉症スペクトラム症を持つ成人とその配偶者のための集団精神療法の試み.	学会発表	2017年10月	国際自閉症カンファレンス東京2017 東京都	三輪なつみ, 大村豊, 山田 勝, 牧田 潔, 森 晶仁, 森千亜紀, 大橋信彦, 原口留里, 木下あかね, 高村貞子	
惨事ストレス対策	講演	2017年10月	大垣市総合福祉会館 岐阜県	牧田 潔	
勤労世代を対象とした短期集中型入院ペインマネジメントプログラムの試み	学会発表	2017年11月	第10回日本運動器疼痛学会 福島県	下 和弘, 井上真輔, 牧田 潔, 金涌まり, 平井裕一, 若林淑子, 宮川博文, 新井健一, 牛田享宏	
消防職員の現場活動にかかるストレス対策	講演	2017年12月	新梅田研修センター 大阪府	牧田 潔	

惨事ストレスとその対応方法について・職場のメンタルヘルス対策	講演	2017年12月	港文化小劇場 愛知県	牧田 潔	
心理職のこれから－大学の立場から－	講演 (話題提供)	2017年12月	ウインクあいち 愛知県	牧田 潔	
PTSD の心理療法	講演	2018年 1 月	国立精神・神経医療研究センター 東京都	牧田 潔, 堀 有伸, 井野敬子	
マインドフルネスと痛み	司会 (座長)	2018年 1 月	愛知医科大学 愛知県	牧田 潔	
消防職員の現場活動にかかる惨事ストレス対策	講演	2018年 2 月	田原消防署 愛知県	牧田 潔	
看護に活かす心理学・認知行動療法の基礎的知識	講演	2018年 3 月	愛知医科大学 愛知県	牧田 潔	
勤労世代を対象とした短期集中型入院ペインマネジメントプログラム	学会 発表	2018年 6 月	第40回日本疼痛学会 長崎県	下 和弘, 井上真輔, 牧田 潔, 土屋まり, 平井裕一, 若林淑子, 宮川博文, 新井健一, 牛田享宏	
トラウマへの心理社会的アプローチ	司会 (座長)	2018年 6 月	第17回日本トラウマティックストレス学会 大分県	大江美佐里, 牧田 潔	
難治性慢性疼痛に対する集学的慢性痛マネジメントプログラムの効果	学会 発表	2018年 7 月	第52回ペインクリニック学会 東京都	井上真輔, 牛田享宏, 新井健一, 下 和弘, 宮川博文, 若林淑子, 牧田 潔, 土屋まり, 平井裕一	
職場いじめの業種別発生率と発生のリスク要因の検討	学会 発表	2018年 9 月	産業・組織心理学会第 34回大会 愛知県	山本紗弥香, 牧田 潔, 金井篤子	
病院心理実習のあり方と今後の展望	学会 発表	2018年 9 月	日本心理臨床学会第37 回大会 兵庫県	山本哲裕, 千葉ちよ, 牧田 潔, 舩田亮太	
投影法課題における図版の特性と性格傾向を反映した神経基盤	学会 発表	2018年 9 月	日本心理学会第82回大 会 宮城県	齋藤大輔, Minyoung Jung, 内海千種, 相澤直樹, 牧田 潔, 中村有吾, 平石博敏, 石橋正浩	

吉川吉美

D (学会発表等)					
演題の名称	発表形式	発表年月	学会等名称, 開催地	発表者	
臨床動作法の工夫	講師	2017年 9 月	秋田県南臨床動作法研究会	吉川吉美	
臨床動作法研修会	講師	2017年10月	日本臨床動作学会・研修会	吉川吉美	
福島での実践を通して思うこと	講師	2017年11月	福島心理リハビリテーション研究会 40周年記念大会	吉川吉美	
臨床動作法研修会	講師	2017年11月	広島ファミリールーム研修会	吉川吉美	
臨床動作法について	講師	2017年12月	中国上海 華東師範大学	吉川吉美	
心理リハビリテーションについて	講師	2017年12月	ベトナムダナン師範大学	吉川吉美	
動作法の実践	講師	2018年 3 月	ベトナムダナン師範大学	吉川吉美	

臨床動作法の実際	講師	2018年5月	中国上海 上海心理学会	吉川吉美	
ストレスマネジメント	講師	2018年6月	常盤大学	吉川吉美	
シンポジウム(若手をどう育てるか)	シンポジスト	2018年6月	東海北陸心理リハビリテーション研究会	吉川吉美	
シンポジウム(各地での実践を巡って)	指定討論者	2018年6月	動作ネットワークジャパン	吉川吉美	
ベトナムにおける動作法を用いた地域援助活動の発展(3)	共同発表	2018年8月	日本心理臨床学会 第37回大会	伊藤拓也, <u>吉川吉美</u>	